



広報

秋 田

平成 4 年 (1992 年)

1 月 1 日

No. 675

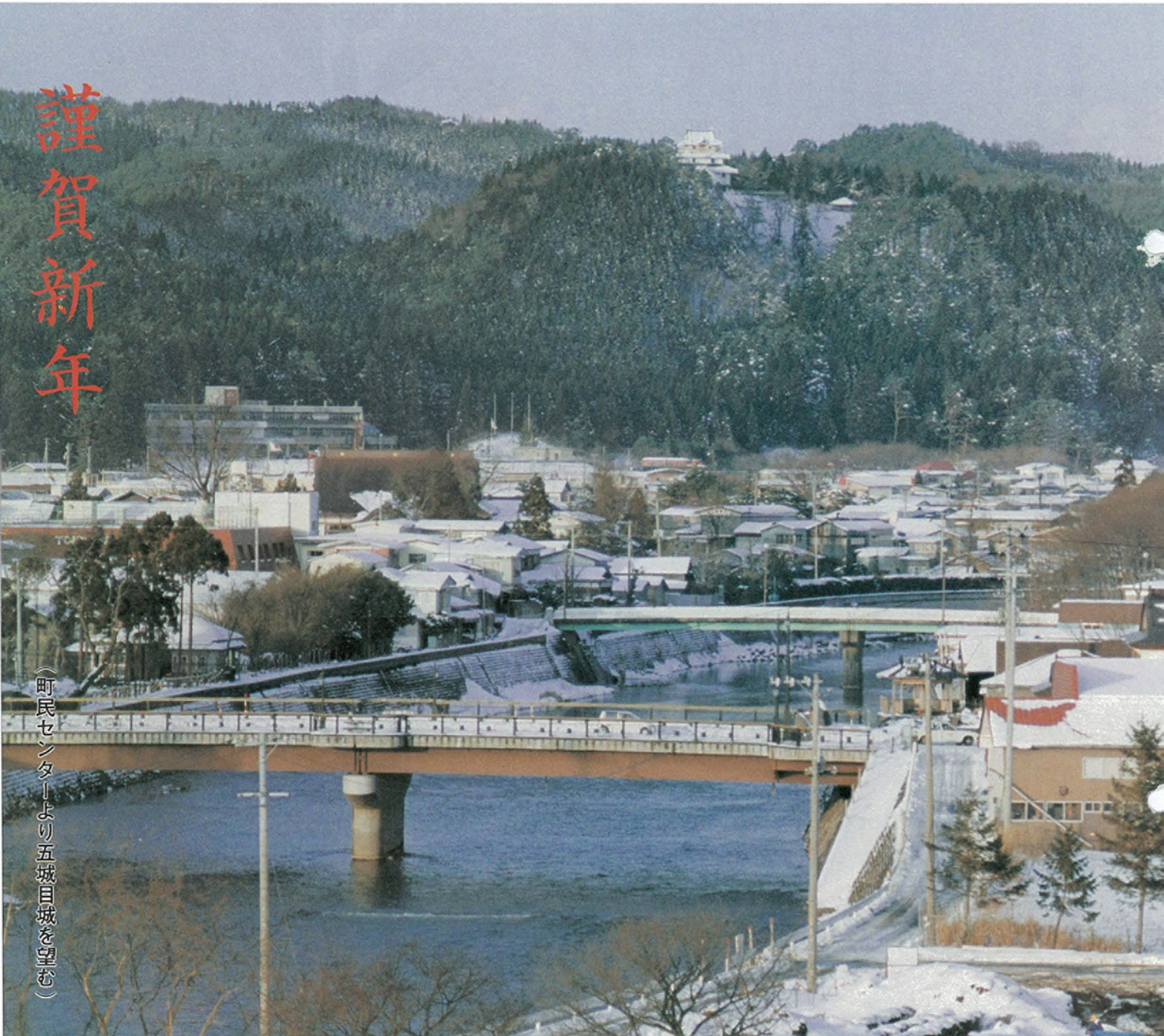
(毎月 1 日・15 日発行)

発行/秋田県五城目町

どじょうめ

謹
賀
新
年

(町民センターより五城目城を望む)



主 な 内 容

- 町長 新年のあいさつ 2・3
- 今年は私たちの年です 4~7
- 12月定例町議会 8・9
- 五城目人物山脈 15

悠久の清流 育む我が郷土

心あらたに

五城目町長

佐藤 邦夫



新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、皆々様にとりましては、
実り多き、幸せな年たらんことを御祈念申し上げます。

また、過ぎし年は、皆様のあたたかい御指導、
御理解を賜り心から感謝申し上げます。

一九九一年、激動、変革を続ける世界は、ソ連邦の解体、大欧州統合
への胎動、多面にわたる貿易摩擦等、正に不透明の中に一九九二年を迎
えることとなりました。

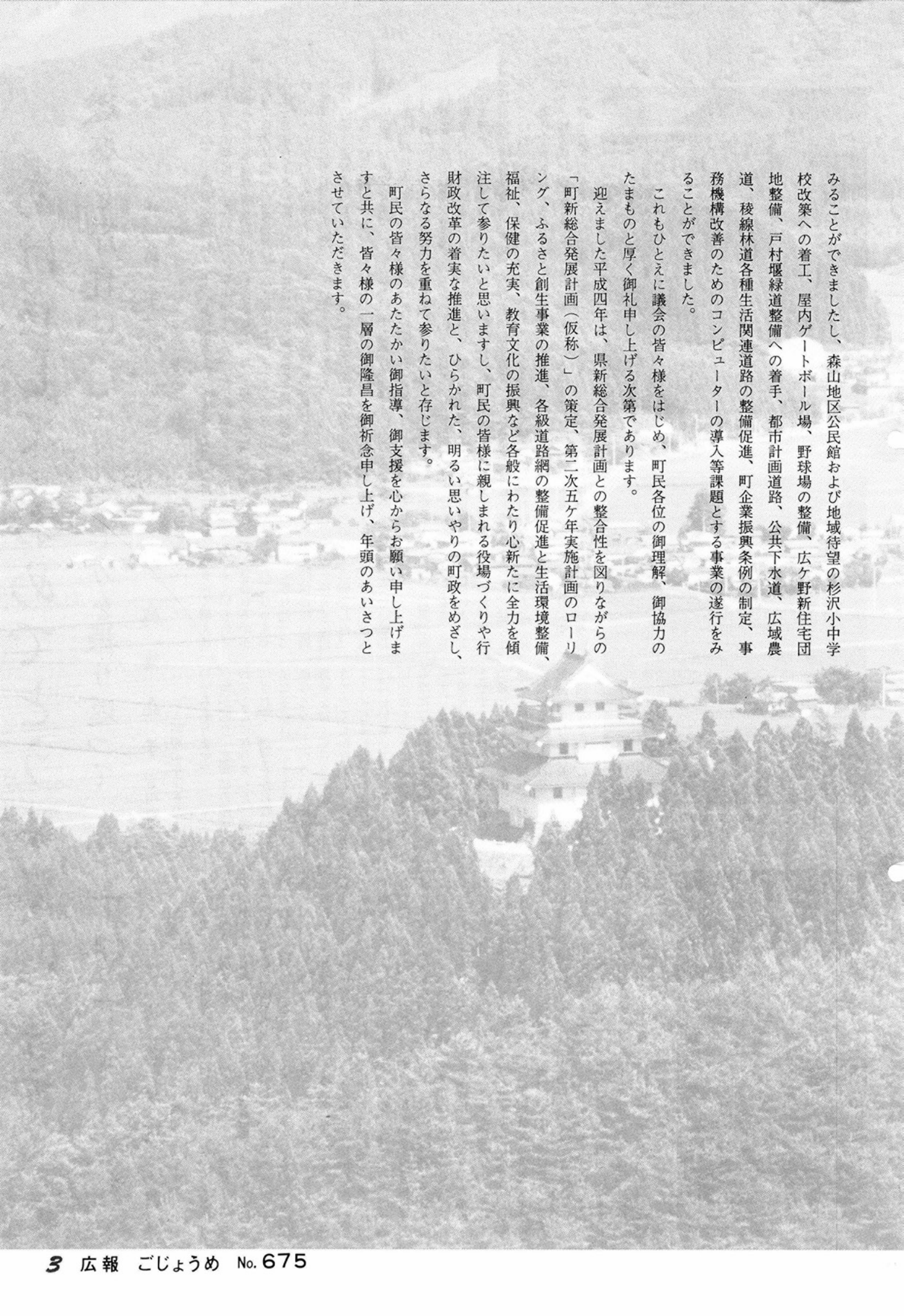
二十一世紀に向けた新しい世界秩序の構築のため、我が国の真価が問
われようとしております。

国内的にも、これらの国際協力や貢献のあり方、政治改革、貿易摩擦
と米の自由化、バブル経済崩壊に伴う経済の再構築等多くの課題をかか
えておりますし、あらゆる分野にわたる点検や見直しを通じ、そのある
べき姿に向けて「チャレンジ」してゆく重要な年となりそうです。

また、特に雲仙普賢岳噴火被災者の皆様には心から御見舞申し上げま
すと共に「おもいきった救済措置を」とお願いしたいと思っております。

当町も台風十九号により甚大な被害をこうりましたが、被災者の皆
々様には重ねて心から御見舞申し上げますと共に、その復旧に力をそそ
いで参りたいと存じます。

昨年は、念願としました老人ホームの完成をはじめ、馬場目地区文化
交流センター、保育園、中津又地区コミュニティセンター等の竣工を



みることができましたし、森山地区公民館および地域待望の杉沢小中学校改築への着工、屋内ゲートボール場、野球場の整備、広ヶ野新住宅団地整備、戸村堰緑道整備への着手、都市計画道路、公共下水道、広域農道、稜線林道各種生活関連道路の整備促進、町企業振興条例の制定、事務機構改善のためのコンピュータの導入等課題とする事業の遂行をみることができました。

これもひとえに議会の皆様をはじめ、町民各位の御理解、御協力のたまものと厚く御礼申し上げる次第であります。

迎えました平成四年は、県新総合発展計画との整合性を図りながらの「町新総合発展計画（仮称）」の策定、第二次五ヶ年実施計画のローリング、ふるさと創生事業の推進、各級道路網の整備促進と生活環境整備、福祉、保健の充実、教育文化の振興など各般にわたり心新たに全力を傾注して参りたいと思いますし、町民の皆様に親しまれる役場づくりや行財政改革の着実な推進と、ひらかれた、明るい思いやりの町政をめざし、さらなる努力を重ねて参りたいと存じます。

町民の皆様にあたたい御指導、御支援を心からお願ひ申し上げますと共に、皆様の一層の御隆昌を御祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

あけまして おめでどうございます

還暦を節目に

北島 宇一郎(大川一区)

昭和七年生まれ

来し方を振り返って

越後 堯子(古川町)

昭和七年生まれ

一期一会

坂谷 芳博(上田町)

昭和十九年生まれ

或る方の六十歳の退職祝いのお開きの時に、「これから、みんなあなた自身の時間なので有効に使い、充実した人生を送り下さい。」とめくった事があります。これは新聞の記事で、『英国ではこの様に退職者をお祝いする』とあったのを引き合いに出して言った言葉です。

私の両親は天逝したので祖母に育てられ、高校卒業と同時に家業の商売を継ぎ、大川町内の食料品の店として現在までやって来ました。今では長男が主導権を持って頑張ってくれています。

一昨年、コンビニエンスのスタイルの店に改造しました。おかげで長年ねがっていた売

月日の早く過ぎゆく例えに、光陰矢の如しとよくいわれます。最近、一日暮れるのが特に早く感じられてなりません。この六十年を振り返ってみると、小学生時代は暗い戦争の時代、終戦を待たずに母が逝ったのは十三歳でした。

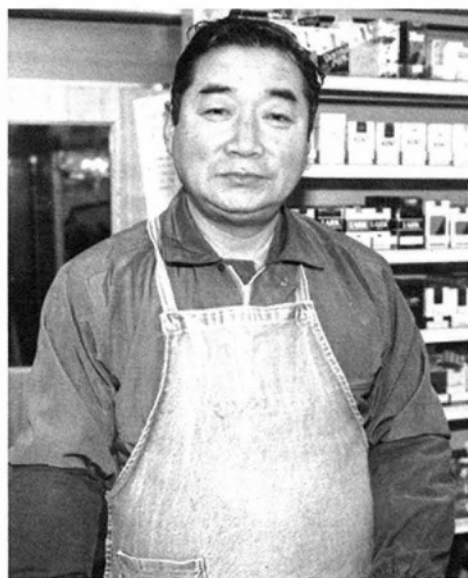
が、五十の手習いで始めた「書」でもやり、時には気の合った仲間と碁、将棋をし人生を楽しみたいと思っています。幸い民生委員もさせて頂いていますし、商工会、酒販業などのお世話もさせて頂いていますので、それらを通して、社会から受けた御恩を少しずつでもお返ししながら、充実した人生を送りたいと思っています。

昭和三十年結婚。長男が誕生して間もなく父も逝き、身内は兄姉のみとなりました。姉達にはたえず励まされ、姑にも恵まれ、息子二人は人並みに成長してくれました。あつという間のようでもあり、やつとここまで来たか、という思

千支のめぐるのは早く、私にとって四度目の当り年、平成四年がスタート致しました。猿は哺乳類霊長目のうち人を除いたものの総称であり、神話、伝説、民話等で人間と関わり数多くの逸話を残しております。昨年は申年を意識してかいろいろエピソードが聞かれはほえましい限りです。

私が生まれた昭和十九年といえは太平洋戦争も末期、敗戦ムード色濃い、いわば混沌の時代であり多くの人々が亡くなりました。以来四十八年、今また交通戦争といわれ犠牲者があつたをたない今日ですが、家庭にめぐまれ、職場にめぐまれ、大きな病気もなく健康にめぐまれて過ごすことが出来ました。多くの人々との出会いがあり別れがありました。それぞれに思いも異なる一生に一度の出会いを大切にしています。

これからも、多くの人々との出会いを大切に、地域の人々との和を大きな輪に広げ、大いに羽ばたこうと意を新たにしています。



“充実した人生を送りたい”
と語る北島さん



“すてきな老人になりたい”
と語る越後さん



“人との出会いを大切に”
と語る坂谷さん

心にゆとりをもちたい

大原 由紀子(畑町)

昭和十九年生まれ



あけましておめでとうございます。「光陰矢の如し」とは正にこのこと。年とともに一年の過ぎ去るのが早く感じられ、あっという間に四回目の申年を迎えてしまいました。新しい年を迎えるにあたって、いろいろと目標をたて、今年こそはと意気込んだこともありましたが、今では健康が第一と、これまで健康で過ごせたことに感謝しております。

高校を卒業してすぐ、電話交換手として五城目郵便局に入り、昭和四十四年の電通合理化後、窓口事務担当となつて以来二十数年、地域の皆様から親しまれ、信頼される郵便局を目ざして今日に至っております。

多く、「あんだとご頼りにしてやってきたし」と言われて手続きを終え、満足して帰られるお客様に「ありがとうございました。」と言える時が仕事をしていた一番うれしく感じられる時です。

また、一日の大半を過ごす職場ですので「和」を大切にこれからも仲良くがんばっていきたくと思っております。

これまでは楽しいこと、苦しいこといろいろありました

が、幸いに地域の方々や職場の仲間の暖かい励ましや、支えによって、今日までやってこられたことに心から感謝いたしております。

時間に追われ、「忙しい」が口ぐせのようになっている私ですが、これからは若い頃手習いしました「お花」「お茶」に目を向ける時間を作り「心にゆとりを、生活にうるおいを」をモットーに、これからの人生を歩みたいと思っております。

「心にゆとりを、生活にうるおいを」と語る大原さん

三十六歳 今、そしてこれから

斎藤 慶喜(館越)

昭和三十一年生まれ



「人間的にさらに大きくなりたい」と語る斎藤さん

今年三回目の当り年にちなんで、夏に同期会をと思いい絡文を考えた時、このちょうど人生の半分の時、再び皆さんと集いたく……と書き始めていました。正直なところ我ながら驚きました。三十六歳という年齢と自分の気持ち、精神年齢の間に大きな隔たりを感じたからです。

しかし、子供も小学生になり、会社の中でも若手から中堅社員となっている現在の自分の立場を考えると、いつまでも甘い考えでは動まらなくなってきました。自分の後ろ姿を子供が、そして会社の後輩が見ている訳です。

ただ、仕事に関しては、自分に与えられたものは一通り

こなせるようになりました

で、今は子供と一緒に遊ぶのが楽しみとなっています。冬のスキー、そして年間を通しての水泳と家族みんなで楽しんでいきます。

二十代の若いときは、どうしても無我夢中に時を送ることが多かった訳ですが、三十代に入ってから、ある程度自分を見直しながら、またどの様に歩いて行ったらいいのか考えることが出来るようになったと思っています。

一つの区切りを迎えた今、人間的にもさらに大きくなれる様、そしてここで生まれ育った者として、地域の活動も努力して行きたいと思っております。

一步一步

猿田 明子(岩野)

昭和三十一年生まれ



「私も1年生になったつもりで」と語る猿田さん

十代の扉を開くと、懐かしい学校生活や様々な情景が、走馬灯のように映しだされます。

中学時代、仲間と共に頑張った部活動、夜の更けるのも忘れ語り合った修学旅行、どれも心の奥の小さな引き出しにしまい込んでいたはずなのに、色あせることなく、いつも鮮やかに輝いています。

就職、結婚、出産と変化にとんだ二十代。

そして今、三回目の当り年を迎えました。

思えば、今日までこれたのも、周囲の人々の支えと、家族の理解があったからに他なりません。

当行(秋田銀行)の行訓の

ひとつに、「自らにきびしく他にはおもしろいやりの深いすぐれた人間をつくること」と、あります。が、ともすれば逆になりがちで、年齢を重ねるごとに、自分の未熟さだけが見えてきます。

折りよくこの四月から、下の子も小学一年生。

健康に気をつけ、まわりへの感謝の気持ちを忘れず、私も一年生になったつもりで、また一步一步、歩んでいきたいと思っております。

今年は私たちの年です

あけまして おめでとうございます

自分の「カラー」を築く

加藤 正 人(東磯ノ目町)
昭和四十三年生まれ

申年。二度目の当り年である。これといって格別、力を入れるつもりはない。ただ、自分の「カラー」はそろそろ築きたいと思う。

「カラー」。たった三文字だが、持つ意味は大きく真に持つ人は少ない。今の世は、「没個性」。長い物に巻かれるのである。金余り。欲しい物は何でもござれ。正直者はバカを見る。こんな時代だ。バカさ加減も度を超すと世見体や見栄、権力で生きる。

だけど、これでいいのか。何か流されちゃいけないか。「自分」を確立した人は、前向きでどんな仕事だろうが輝いている。そして、その人には不思議と人が集まるのだ。いつしか信頼という見えない力がついてくるのだろう。そして何よりもその人は楽しい。

簡単には作れないだろうが、失敗を重ね、こつこつと「自分のカラー」を作っていくたい。



“自分のカラーを作りたい”
と語る加藤さん

自分を見つめ直して

伊藤 佳 子(大川二区)
昭和四十三年生まれ

明けましておめでとうございます。『新年』というところ、決まって「今年は……」というように、やる気が出てくるのは不思議なものです。そういえば、小さい頃から、ノートのページ目や教科書のページ目というの、不思議とやる気を誘いました。ただ、その気持ちを継続することが、とても難しく、いつも私の課題でした。

そして、社会人五年目の今も課題だと思っています。特に今年は二度目の当り年でもあるので、もう一度自分を見つめ直してみたいと思います。

入行してからずっと、窓口を担当していて、本当に色々



“自分を磨いていきたい”
と語る伊藤さん

チャレンジ精神で

沢田 石 渉(内川小五年)
昭和五十五年生まれ

毎年新しい年を迎えるたびに、今年こそは、勉強にスポーツに力いっぱいがんばるぞと決心します。でも、いつのまにか何となく一年が終わってしまっています。

今年は、さる年で、ぼくは年男です。最高学年にもなる年なので、今年こそは、自分の目標を達成したいと思っています。

そこで、ぼくは、今年一年「チャレンジ精神」でがんばることにしました。

まず一つ目は、苦手な運動に積極的に取り組むということです。

ぼくは、とてもやせていて体力的に他の人たちにだいぶおとります。そのため、体を



“何事にもめげずチャレンジしたい”
と語る沢田石君

今年 は 申 年 私 たち の 年 だ す

今年 の め あ て

菅 原 美 賀 子 (五 城 目 小 五 年)

— 昭 和 五 十 五 年 生 ま れ —

今年 は、私 の 年、申 年 だ す。そ の う え 最 上 級 生 に な る 年 で も あ り ま す。

今、私 は 最 上 級 生 に な る に あ た っ て の 目 あ て と、部 活 動 の 目 あ て と 二 つ 目 あ て を た て て い ま す。

最 上 級 生 に な っ て の 目 あ て

は、下 級 生 の お 手 本 に な る よ う に 先 頭 に 立 っ て ひ っ ぱ っ て い く こ と だ す。特 に、今 度 入 っ て く る 一 年 生 の め ん ど う も 見 て あ げ た い と 思 っ て い ま す。何 も 知 ら な い で 入 学 す る 一 年 生 の 心 の 不 安 を 取 り 除 け る よ う に、話 し 相 手 に も な っ た り し て、や さ し い 六 年 生 に な り た い と 思 い ま す。

委 員 会 の 仕 事 も 今 ま で と 違 い、た く さ ん あ り ま す。み ん な の 毎 日 の 学 校 生 活 が 気 持 ち 良 く、楽 し く 過 ぎ せ る よ う に 頑 張 り た い と 思 い ま す。

部 活 動 で は、四 年 生 が 入 り 私 も、も う せ ん ば い に な り ま し た。

卓 球 で も い ろ い ろ な ルール や 技 が あ り ま す。毎 日 の 練 習 で、一 つ 一 つ の 技 を 覚 え て い き、覚 え た こ と 全 部 を 四 年 生 の 子 に 教 え て い く つ も り だ す。今 年 は 日 光 猿 軍 団 の よ う に 心 と 技 を み が き、五 小 の 卓 球 部 が 優 勝 で き る よ う に、い し し よ う け ん め い 頑 張 り た い と 思 い ま す。



“2 つ の 目 あ て を た て 頑 張 り た い” と 語 る 菅 原 さ ん

今年 は 申 年 さる



平成

四年 は 申 年 だ す。サル は、桃 太 郎 や サ ル カ ニ 合 戦 に も 登 場 す る、お な じ み の 動 物 だ す。

ひ と く ち に サ ル と い っ て も、体 重 や 種 類 な ど、実 に さ ま ざ ま だ す。ゴ リ ラ な ど は 大 き い も の で は、体 重 約 二 百 キ ロ 以 上 も あ り ま す。一 方、マ ダ ガ ス カ ル に い る ミ ミ ゲ コ ビ ト キ ツ ネ ザ ル は、体 重 四 十 五 グ ラ ム ほ ど で す。ま た、大 き な シ ッ プ を も ち、木 の 上 で 生 活 す る 原 猿 (下 等 霊 長 類) の な か に は、一 見 リ ス に 似 た も の も い ま す。そ の ほ か、オ ラ ン ウー タ ン や チ ン パ ン ジー な ど の よ う に、ヒ ト ニ ザ ル (人 似 猿) と い わ れ る、高 等 霊 長 類 も い ま す。

日本

に 生 息 し て い る の は、ニ ホ ン ザ ル だ す。顔 と

お し り の 赤 い、お な じ み の サ ル だ す。ニ ホ ン ザ ル の 南 限 は 鹿 兒 島 県 の 屋 久 島、北 限 は 青 森 県 の 北 端 の 下 北 半 島 だ す。沖 縄 と 北 海 道 に は い ま せ ん。

ニ ホ ン ザ ル は、昔 か ら 日 本 人 に 親 し ま れ て き ま し た。昔 話 は も ち ろ ん だ す が、古 事 記 や 日 本 書 紀 に も 登 場 し、道 案 内 を す る サ ル タ ヒ コ ノ カ ミ は、サル で あ る と も い わ れ、い ま で は 道 祖 神 と し て ま つ ら れ て い ま す。

こ と わ ざ に も、サル に ま つ わ る も の が い ろ い ろ あ り ま す。だ れ で も 知 っ て い る の は、「サル も 木 か ら 落 ち る」 で し ょ う。こ れ は、サル を 木 登 り の ベ テ ラ ン と し て い る わ け だ す が、一 方、「サル ま ね」「サル 知 恵」な ど に な る と、サル は 笑 い も の 扱 い さ れ て い ま す。

ところ で

最 近、野 生 の ニ ホ ン ザ ル を

見 る 機 会 が 多 く な り ま し た。観 光 用 に 餌 づ け し た サ ル が 人 前 に 現 わ れ た り、開 発 で 山 の エ サ が 不 足 な っ た た め に 里 に 出 て、ド ラ イ バ ー に エ サ を ね だ っ た り と い う こ と が、多 く な っ て き て い る よ う だ す。

サル を 間 近 に 見 ら れ る の は 楽 し い の だ が、や は り 野 生 動 物 と 人 間 は、適 当 な 距 離 を 置 い て 共 存 す る の が 自 然 で は な い で し ょ う か。サル 年 を 機 に、こ ん な こ と も 考 え て み ま せ ン か。

12月定例町議会

ふるさと創生事業決まる

一般会計

3億4,983万1千円を追加

一般職の職員
給与を改定

国家公務員の給与改定に準じて、一般職の職員の給与が改定されました。今回は率にして四・四五パーセントのアップで、一般行政職の平均給料月額（平均年齢四十三歳）は二万三千九百五十五円になりました。

一般会計予算の総額

五六億

八、四九二万円に

平成三年度一般会計予算の十二月補正は、歳入歳出それぞれ三億四九八万三千円で、一般会計予算の総額は、五六億八、四九二万円となりました。補正の主な内容は次のとおりです。

【歳入】

▽町税 三、四三三万五千円増額

▽個人所得割・償却資産

▽地方交付税 七、六一七万六千円増額

▽国庫支出金 五、〇六五万五千円増額

▽現年災害復旧費負担金、農地農業用施設災害復旧費負担金、まちなみデザイン推進事業費補助金

▽県支出金 七、三五五万円増額

▽戦後農業者生活安定基金、農業者生活安定基金、露地型野菜・花き産地育成事業費補助金など

▽繰入金 一億八千万円増額

ふるさと五城目創生基金

ふるさと五城目創生基金

ふるさと五城目創生基金

ふるさと五城目創生基金

ふるさと五城目創生基金

ふるさと五城目創生基金

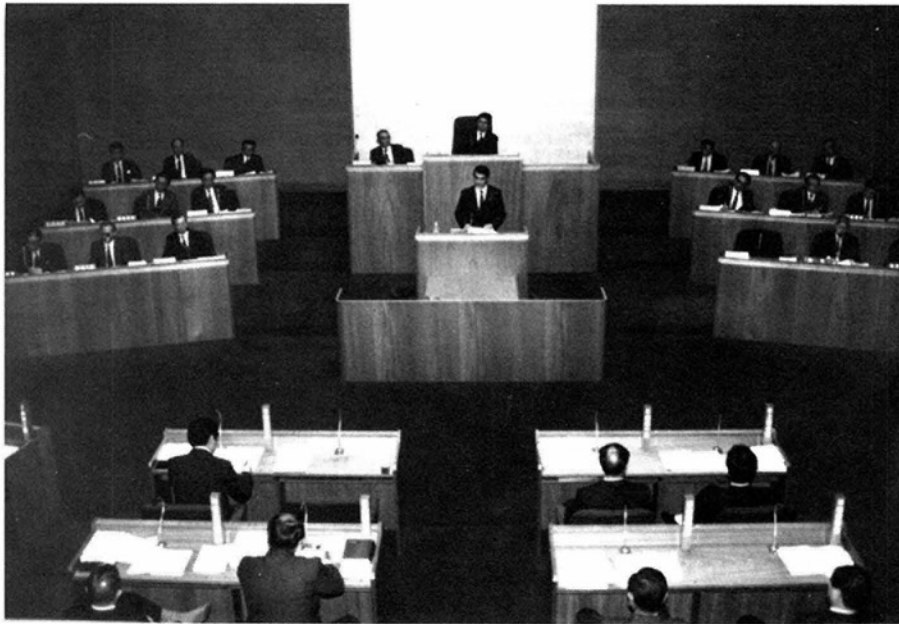
ふるさと五城目創生基金

平成二年度一般会計決算
二億二、一二九万二千円の黒字

平成二年度各会計決算は、今回の定例町議会ですでに認定されました。

一般会計は、歳入の総額が五六億七、〇四三万九千円、歳出の総額が五四億四、九一四万七千円で、差引き一億二、二九万二千円の黒字となりました。なお、特別会計の決算状況は次のとおりです。

- ・国民健康保険特別会計
歳入〓九億六、六二七万八千円、歳出〓八億三、五九六万八千円、差引額〓一億三、〇三一万円
- ・老人保健（医療）事業特別会計
歳入〓十億二、六九七万二千円、歳出〓十億二、六〇八万六千円、差引額〓八八万五千円
- ・簡易水道事業特別会計
歳入〓九四万七千円、歳出〓九四万七千円、差引額〓六八万一千円



10日間の日程で開かれた12月定例町議会

十二月定例町議会は、十二月十一日から二十日までの十日間の日程で開かれ、平成二年度一般会計歳入歳出決算をはじめ、平成三年度一般会計補正予算、教育長・一般職の給与に関する条例の一部改正、建物（五城目町農協駅前倉庫）の取得など十九議案を審議し、全議案を原案通り可決、認定しました。また、陳情十八件については九件を採択、大型店に関する陳情など九件については継続審査としました。請願二件、意見書二件はそれぞれ採択としました。なお、継続中の陳情七件については、一件を採択、五件を継続、一件を取り下げとしました。

繰入金

【歳出】

▽総務費 一億八、九六〇万三千円増額Ⅱふるさと創生事業費（用地・建物購入費）など

▽衛生費 六五・一万三千円増額Ⅱクリーンセンター工事請負費など

▽農林水産業費 八八・九万円増額Ⅱ農業振興費、農村総合整備モデル事業費など

▽土木費 九八・八万五千円増額Ⅱ区画整理事業費など

▽災害復旧費 七・六三・五万五千円増額Ⅱ農地・農業用施設災害復旧費など

各特別会計の補正

▽国民健康保険特別会計

七、六二・七万七千円を追加補正し、総額は八億七、七五〇万一千円に。

▽簡易水道事業特別会計

六八・八万一千円を追加補正し、総額は一・三〇・三万五千円に。

▽下水道事業特別会計

一五・五万三千円を追加補正し、総額は二億四、八三・三万九千円に。

▽水道事業会計

・事業収益 補正予定額は七・二・三万九千円Ⅱ総額二億一・五・五万五千円に。
・事業費 補正予定額は三・五〇・四万二千円に。

一般質問 要旨

今定例会の一般質問は、六議員から、それぞれ次の要旨で出されました。これに対する町の答弁については、次回の議会だよりに掲載される予定です。

◇石川交三氏

一、誘致企業等の賞与、手当支給に不利益な取り扱いはないか

二、国保税の引き下げを、検討経過の確認

三、眼内レンズへの補助

。はり、灸（きゅう）、マッサージへの補助

。介護手当の支給を

。通園バスの実現を

四、町財政の運営について

五、ジャスコ問題と町の対応を問う

◇伊藤建一氏

一、馬場目、富津内、内川の各小学校は総合発展計画の中で順次改築の時期にきているが、計画の見直しは行われないのか。

二、舟付場団地に第二次の公営住宅団地を造成してはどうか。第一種の公営住宅の建設は考えられないのか。

三、上水道における水道主管（大川地区）の破裂が相次いでいる。取り替えの耐用年数が過ぎていると思うが

どうなっているか。

四、水稲の作況指数において、現況と実勢との差がありすぎるのはなぜか。被害農家救済の対策はたてられないか。

五、ジャスコ出店について、反対、賛成の意見が相次いでいるが、町当局において次の対策はとられているか。

。共存共栄の道を探っているか、その可能性は

◇小玉郁夫氏

一、物産振興と一体化した観光開発

。ふる創センター（仮称）整備構想について

。物産振興のための公社の設立について（ふるさと物産センターの提言）

。後継者の確保について

。物産センターと連動する商店街と観光開発について（森山周辺を核とした秋田スキの里との関連）

二、大型台風十九号への対応と事後処理

。台風十九号の教訓を今後どう活かすか

。多様化した社会での消防団のあり方（待遇改善他）

三、日本海沿岸東北自動車道。昭和と琴丘間が整備計画路線に格上げされたが、アクセス関連道路および都市計画について

。付近に設置されるインターチェンジの名称と対応について

◇猿田一美氏

一、過疎地域指定脱却について

。脱却に対する今後の重点施策

二、機構改革について

。改革の全体像

。作業の進展状況

三、地場産業の育成

。企業懇談会と誘致条例の活用

。農産物（特産物含む）の加工と流通の確立

四、情報化時代に対する対応

。町民センター放送施設の利用の拡大

五、職員の待遇改善と臨時職員の定義

。待遇改善の方法

。臨時職員（一般・教職）に対する考え

六、磯ノ目地区道路、七倉排水路の整備計画

◇齊藤明氏

一、大型店進出意志表明にともなう諸問題

。今町内は大型店問題で賛否両論がうずまいている。

町長は本件に積極的にとり組むとの強い意志表明をされているがその意味は。

二、今後予想される大型事業計画（長期計画）と財政について

。教・体育施設・福祉エリア構想充実など。

三、各部課に分散している文化資産運営を一括して管理

する課または係を設置する考えはないか。

四、県の総合発展計画の中の町民センターの位置づけは

◇岡崎幸雄氏

一、ジャスコ出店計画への行政としての対応

二、第二次五カ年実施計画におけるソフト事業計画の進捗状況

。街並景観条例制定の検討

。介護福祉士育成事業、シルバー産業の振興

。不慮虫患調査および保護対策事業

。大規模イベントの開催

。役所言葉改善運動の展開

。幼稚園はいづれ移転するか

。先行取得用地の活用は

四、カラスが増えすぎている

町長の主な予定（1月）

・1月1日／長寿祝（大川3区・小鮎トミエ様）

・1月4日／仕事始め式（役場）

・1月5日／消防出初め式

・1月6日／消防署前／同式典（広域体育館）

・1月6日／8日／新年あいさつ回り

・1月10日／庁議（役場）

・町議会議員と課長以上の新年会

・1月11日／県町村会創立70周年記念懇談会（あきたくらぶ）

・1月14日／ふる創館（仮称）整備運営委員会（役場）

・1月15日／馬場目婦人学級（ふれあいセンター）

・1月17日／庁議（役場）

・1月19日／大川地域づく

り懇談会（五城目町農村環境改善センター）

・1月24日／庁議（役場）

・1月25日／町功労者石井俊一様誕生祝（御蔵下）

・町功労者阿部チャ様誕生祝（今町）

・1月26日／五婦連研修会（町民センター）／消防友の会総会（都）

・1月28日／長寿祝（中村・小玉モヨ様）／伝染病隔離病舎組合監事会（役場）

・1月29日／町功労者長谷川定作様誕生祝（仲町）

・1月31日／部課長会議（役場）

ふれあい広場

おらほの
自慢っこ

曙町町内会

鈴木秀雄



皆様あけましておめでとうございます。

「着なれない晴れ着を身につけ自慢っこ」と一笑に付されることを覚悟の上で、思いつくままに筆を運ばせて戴きます。

当曙町は、昭和四十九年に五城目町開発公社が造成した分譲地で、西側に隣接して国道七号線が走り、北側は馬場目川越しに森山の威容を一望出来、東側は農民の誇り悠紀斎田を眼前に美田が連なり、目を転じて南側は、西野第一農道越しに一望千里、これまた五城



町内会々員によるゴミ箱づくり

目を代表する大川の圃場とで囲まれ、自然環境と交通の便が融合した、真に現代の居住環境の理想郷として発展途上にある戸数二七戸の新興団地でございませう。(自慢もほどほどの声あり)特に町内から眺める朝焼けと夕焼けは共に筆舌に尽くせない美しさと申し上げても過言ではないでしょう。

初代泉谷会長が『東の空から昇る太陽をいっぱい浴びてすこやかに町内の和を保とう』との願いの基に八曙町と名づけた由縁も宣なるかなでございます。

初代泉谷会長は、この恵まれた居住環境をこよなく愛し強い信念で町内会設立に燃え、その理念は「町内会は我が家と思ひ責任を持ったボランティアとして頑張りたい。一人ひとりの会員が自分の家族を愛するごとく町内を慈しむならば自ずと和が保たれ団結心が湧いてくるはず」と申され、町内のみならず、大川地区他町内会との融和親睦を目的とした各種事業にも取り組まれたのでございます。

この理念と姿を歴代会長・役員・全会員が受継ぎ、今では他町内会の方から「曙町は良くまとまっておりますね。」と、言われるようになりました。

現在町内会のメイン事業は、例年七月下旬に行われるビヤガーデンと、隔年毎の大川地区住民体育祭参加の二事業でございますが、老若男女総参加の一大コミュニケーションの場となり曙町に居を構えた幸せに酔える一時ともなります。この幸せを噛み締め、『新しい時代に適応した活力ある町内会・心から安らげる曙町』を目指して奮闘されている現畑井会長並びに役員の方々に微力ながらより一層の協力を誓い筆を擱かせていただきます。

健康コーナー

貧血について

近頃の成人女性に目立って貧血者が増えており、血液が薄くて献血不適格となる人が十人に三人の割合と、成人男子の約十倍にもなっています。

貧血は、体内の各臓器や組織に酸素を供給する血液の中の色素(ヘモグロビン)の減少で、体内が酸欠状態になると発症します。そのため、体がだるい、めまいがする、顔色が悪い、頭痛や動悸などの症状があらわれてくるのは、酸素の運搬が不十分で、体内が酸欠状態を起しているからなのです。

貧血には大きく分けて三つの原因があります。第一は鉄分の不足、第二は造血器官のどこかに故障が起きている場合、第三は体のどこからか出血している場合(痔や胃潰瘍、子宮筋腫など)です。この中で最も多いのが鉄分の不足で起こる鉄欠乏性貧血であり、

無理なダイエットや偏った食生活などが原因としてあげられています。

貧血の予防、治療には、何よりもまず食生活の管理が大切になります。たかが貧血と軽く考えずに、普段の食事の中で次のようなことに気をつけましょう。

一、インスタント食品や外食を控え、栄養のバランスのとれた食事をしましょう。

二、赤身の肉、魚、卵、乳製品など良質のたんぱく質を多く含んだ食品をとりましょう。

三、鉄分を多く含む牛肉、レバー、いも類などを積極的にとりましょう。

四、葉酸やビタミンB₁₂は造血、ビタミンCは鉄の吸収に必要です。貝類や海藻類、果物、緑黄色野菜などを心がけてとるようにしましょう。

五、食事を抜かずに三食きちんと食べましょう。

― 役場保健室 ―

あけまして おめでとう ございます

今年もよろしくお引立の程お願い申し上げます。

田舎ぐらしの
豊かさを
贈ります。

古法醸造味噌・漬物
きりたんぽセット・餅・佃煮
諸越・稲庭うどん
三五八漬物 etc

手づくりの味
自然の味
ふるさとの味

さ か り ち
坂 市

秋田県五城目町字上町142 ☎(0188) 52-2046



母校に扁額を寄贈

— 乙市出身の井上金三さん —



寄贈された井上金三(秀石)さんの扁額

このほど、富津内乙市出身で、現在大阪府豊中市に住んでいる井上金三さん(旧姓伊藤)から母校の富津内小学校へ、自筆の扁額「寿無涯(ことぶきかぎりなし)」(180cm×60cm)が寄贈されました。

井上さんは、昭和十八年三月、中津又国民学校(現富津内小)高等科を卒業後間もなく郷里を離れ、苦学を重ねながら書道に励まれました。現在、日本教育書道連盟審査員、文化書道全国連盟常任理事、秀石書道会々長などの要職を務めるかたわら、大阪市内数カ所に教場を持ち、若い方々の指導に当たられています。

富津内小学校長の北條先生は「たいへん立派な扁額をいただきありがたい。本校出身の書家の揮毫されたものだけに貴重であり、子どもたちの指導に役立てたい」と喜びを語っていました。

粘りも味も最高!!

— 自然薯試食会 —



町民センターで行われた試食会

町で特産品化を進めている「自然薯(じねんじょ)」の試食会が、十二月十日、関係者ら約八十人が参加して行われました。

最初に五城目町自然薯栽培研究会々長の石井邦憲さん(小倉)があいさつ。続いて町から栽培経過が報告された後、富田の原田茂穂さんが栽培方法について詳しく説明しました。

この後試食が行われ、「長いものに近い味かと思っていたが、きめが細かく舌ざわりもよい」「自然の山いもと粘りも味も変わらない」など皆さんからは好評の声が多く聞かれ、特産品化に向けて大きな弾みとなりました。

スカウトハウスの完成を祝う

— ボーイスカウト秋田第30団 —



新しいスカウトハウスで行われたクリスマス

ボーイスカウト秋田第三十団のスカウトハウス(集会場)が、馬川地区公民館の隣りに完成し、十二月二十一日、関係者ら約百五十人が出席して竣工式などが行われました。

神事の後行われた竣工式では、団委員長荒川渡さんが、建設に至るまでの経過などを含めながらあいさつをしました。この後、新入隊員入隊式やクリスマスが行われ、集会場にはボーイや父兄の皆さんの歌声や歓声が響いていました。

これからは、このスカウトハウスを拠点にしながらボーイの皆さんの活動が展開されます。

ジルバやワルツに挑戦

— 大川地区で社交ダンス講習会 —



農村環境改善センターで行われた社交ダンス講習会

初心者を対象とする社交ダンス講習会が、十一月二十五日、二十七日、二十九日の三日間、今年も農村環境改善センターを会場に開催されました。主催は大川地区公民館(佐藤良治館長)。

講習種目はジルバ、ブルース、ワルツ、マンボ、チャチャの五種目で、受講者は二十代から六十代の二十三人。そのうち三分の一は初めてということ、初日はとどった人も見受けられたそうですが、二日目、三日目と徐々に上達。十二月六日に行われたダンスパーティーでは、三日間の成果を披露し合い、ダンスを楽しんでいました。

除雪作業にご協力を

8業者に除雪作業を委託

町や県では、冬期間の交通を確保するため除雪態勢に入っています。

町道の除雪は、国道、県道に通ずる路線やバス路線、通学路など主要な幹線道路から随時行い、できるだけ早く各地区の道路に除雪車が入れるような態勢をとっています。

町が除雪する道路は三百六十六路線で、その総延長距離は約百十三キロ。ローダーやグレーダーなど7台の除雪車が、早朝三時から出動できるようになっています。

また、町の除雪車で回らない路線については、町内の民間機械所有者に除雪作業を委託しています。

迅速、効果的な除雪ができるように、次のことにご協力をお願いします。

- ①路上に駐車をしない
- ②路上に物を置かない
- ③道路に排雪しない
- ④路上へ雪の落ちる屋根の場合は雪止めをつける

特に路上駐車は、除雪の邪魔になるだけでなく、除雪できない場合もあります。路上駐車は絶対しないでください。また、幅四メートル以下の狭い路地などは、除雪車が入

れませんので、町内の皆さんで除排雪を行うようお願いいたします。

委託業者と担当路線は次のとおりです。 (敬称略)

▽赤坂建設 赤坂賢治 電話75-2749

大川上湯端線、同神田尻線、同湖東線、同今戸線、同下川原線、同墓地線、同中川原線、同新住宅線、同新住宅支線、同今戸支線、同西住宅小路線、長太小路線、大川西屋敷線、同東屋敷線、同下タ川原線、同寺小路線、大樋線、大川二区駐車場線、下樋口ウツフケ線、大川小学校通線、下樋口上線、同屋敷下線、大川関合線

△歩道▽ 大樋線、大川関合線

▽伊藤産業 伊藤幸三郎 電話54-2206

上田町線、岡本南線、野田開線、同清浦線、同開防線、下山内線、同支線、同中央線、同深堀線、同組田線、下山根線、山根線、同支線、中島線、同中央線、上山内荒町線、同大宮線、上広ケ野線、和田線、八田下線、同上線、八田若宮線、下山内小倉線、小倉樋ノ

口線、黒土小倉支線、黒土小倉線

▽セコー 加藤政光 電話52-4638

岡本家ノ下線、同小池線、同川崎線、野田小池線、下台恋地線

▽佐々木造林 佐々木留蔵 電話53-2126

保呂瀬線、恋地下丁線、同中丁線、同中支線、恋地線香座線、同神社線、同上丁線、坊井地線、杉沢中通線、同貯木場線、同下段消防線、同下通線、同中央通線、同上台通線、恋地線、堤台線、北口線、滑多羅線

▽佐々木工業 佐々木喜久也 電話53-2225

寺庭悲線、同中線、同柳沢線、同上村線、同水上線

▽沢忠林業 沢田石忠作 電話54-2532

金ケ沢線、湯ノ又日ノ沢線、金ケ沢消防下線、同消防上線、湯ノ又後田線、同川向線、同川向支線、同後田支線、小川口中線、湯ノ又羽立線、同羽立支線、小川口線、浅見内容

地田線、同高樋線、同五輪塔線、同堂ノ下線、同川端線、同後田線、同湯ノ越線、同家ノ沢線、同札ノ前線、同上ノ山線、同神社線

▽畠山石油店 畠山光芳 電話52-3019

東磯ノ目北一丁目線、同北二丁目線、同東線、栄小路線、しのお通線、梅林小路線、中川原上線、宮林署通線、同支線、細越線、神明前線、鶴ノ木稲荷線、七倉種沢線、幼稚園通線、寺小路線、仲町通線、同小路線、電話局前通線、入船通線、七倉線、線香座線、山王線、円海線、不動尊線、稲荷前線、配水池線、九文寺線、羽黒前線、田町旧県道線、同裏通支線、同集会所通線、石田小路線、土手小路線、川寺小路線、商工会館前通線、彦太郎小路線、川反通線、文化小路線、雀館北線、同下川原支線、同下川原線、館町高崎線、同下線、同上線、中泉田住宅線、岩野高崎線、同住宅線、同住宅支線、高崎雀館線、田中線、高崎上樋口線、同里下線、同里下東線、同下村住宅線、同下村旧県道線、同下村線、同小沼線、希望ヶ丘川端線、同二組通線、同三組通線、同集会所通線、同五組通線、同宮林署住宅線、同六組通線、広ヶ野中線、高崎行内沢線、同下川原線、同槐線、坊村白旗川端線、久保坊村線、久保線、同寺小路線、同川原線、同川原村線、同上

川原支線、同竹原線、館越館回線、同高田線、雀館東線、中高崎線、上高崎川端線、七倉種沢支線、矢場崎西線、同中通線、高崎高屋敷線、稲荷前大由沢線、浦横町線、同幹線、小立花線、鏡沢線、白水沢線、岡本ニラ山線、森山登山道線、宮花線、矢場崎岡本線、矢場崎線、同大通り線、同南線、同東線、帝釈寺小猿沢線、同川端線、同三ヶ沢線、町村門前線、同三郎平衛線、同善太郎小路線、同長太郎小路線、同中央線、同谷地小路線、門前産土上線、同寺下線、蓬内台山手線、同公民館線、同中央支線、同中央線、小野台線、同中線、寺庭中村線、中村後村線、同後村支線、同巡查小路線、同田山線、同田山支線、同権兵衛支線、大吹沢支線、大吹沢線、中屋敷線、水沢線、同黒山線、松樹院前線、町村門前幹線、門前川反線、広ヶ野線、曙一丁目線、同二丁目線、同三丁目線、石崎沼田線、同裏通線、樋口下樋口線、四ツ屋中谷地線、谷地中石崎線、同四軒町線、西野海老沢線、原島線、谷地中樋ノ下線、同嵐町線、同三軒町線、西野中線、同上線、四ツ屋川端線、同田中線、同八幡前線、同下村部落線、同下村線、上樋口西野線、西野矢場崎線、曙四丁目線、

△歩道▽ 磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

川原支線、同竹原線、館越館回線、同高田線、雀館東線、中高崎線、上高崎川端線、七倉種沢支線、矢場崎西線、同中通線、高崎高屋敷線、稲荷前大由沢線、浦横町線、同幹線、小立花線、鏡沢線、白水沢線、岡本ニラ山線、森山登山道線、宮花線、矢場崎岡本線、矢場崎線、同大通り線、同南線、同東線、帝釈寺小猿沢線、同川端線、同三ヶ沢線、町村門前線、同三郎平衛線、同善太郎小路線、同長太郎小路線、同中央線、同谷地小路線、門前産土上線、同寺下線、蓬内台山手線、同公民館線、同中央支線、同中央線、小野台線、同中線、寺庭中村線、中村後村線、同後村支線、同巡查小路線、同田山線、同田山支線、同権兵衛支線、大吹沢支線、大吹沢線、中屋敷線、水沢線、同黒山線、松樹院前線、町村門前幹線、門前川反線、広ヶ野線、曙一丁目線、同二丁目線、同三丁目線、石崎沼田線、同裏通線、樋口下樋口線、四ツ屋中谷地線、谷地中石崎線、同四軒町線、西野海老沢線、原島線、谷地中樋ノ下線、同嵐町線、同三軒町線、西野中線、同上線、四ツ屋川端線、同田中線、同八幡前線、同下村部落線、同下村線、上樋口西野線、西野矢場崎線、曙四丁目線、

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

磯ノ目線、田町線、岩城線、広ヶ野下山内線、高崎広ヶ野線、上町線

▽畑沢興業 畑沢与左右衛門 電話54-2545

大手線、富田下川原線、富田線、同寺沢線、同上小路線、同雷線、同杉野線、長面線、御蔵下下線、同上線、台線、脇村旧県道線、脇村線、六郎沢旧県道線、高田線、高千公園線、千日線、落合旧県道下線、同川端線、同旧県道上線、同消防線、北村線、千日支線、台御蔵下線、黒土線、黒土大沢線

1月3月

第1・第3日曜は

全町除雪デー

町では、除雪作業をより効果的にするため、毎月第一、第三日曜日を「全町除雪デー」に定め、今年も町内の皆さんのご協力をお願いすることになりました。期間は一月から三月までです。

作業期間、作業手順などは各町内会で決めてください。また、排雪のための機械、トラックなども各町内会で用意するようお願いいたします。

排雪する場所は、各町内会で農地や空地などを選んで、その土地の所有者から承諾を得てください。町で指定した排雪場所は、次の三カ所です。

①雀館(町民センター)

②旧役場の馬場目川

③磯ノ目大橋上流・東磯ノ目町内側の馬場目川

あきたリゾートライン

沿線風物の 写真を募集

あきたリゾートライン活性化協議会では、あきたリゾートライン沿線の十市町村（鹿角市、大館市、比内町、鷹巣町、森吉町、合川町、上小阿仁村、井川町、飯田川町、五城目町）における年間を通しての風物写真を募集しています。

これは、沿線市町村の風景の美しさ、情緒ある風景をPRし、活性化に役立てようというもの。募集した写真は沿線市町村等における各イベントに合わせて展示されることになっています。

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。

▽応募方法

撮影年月日、場所、簡単な説明を加え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号（連絡先）を記入

募集内容は次のとおりです。



※あきたリゾートライン

飯田川町国道7号線と国道285号線との分岐点

鹿角市東北縦貫自動車道十和田IC間の国道103、104、105、285号線

飯田川町国道7号線と国道285号線との分岐点

鹿角市東北縦貫自動車道十和田IC間の国道103、104、105、285号線

飯田川町国道7号線と国道285号線との分岐点

鹿角市東北縦貫自動車道十和田IC間の国道103、104、105、285号線

飯田川町国道7号線と国道285号線との分岐点

鹿角市東北縦貫自動車道十和田IC間の国道103、104、105、285号線

飯田川町国道7号線と国道285号線との分岐点

鹿角市東北縦貫自動車道十和田IC間の国道103、104、105、285号線

200人がタイムを競う クリスマス水泳競技大会

十二月十五日、温水プールにおいて、二百人の小学生が参加して「クリスマス水泳競技大会」が行われました。成績は次のとおり。（敬称略）

【小学校男子の部】

▽自由形25M2年以下

①小玉嵩（五城目）③伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①田中健（富津内）

▽自由形50M4年以下

③伊藤隼人（富津内）

▽同6年以下

①田中健（富津内）

▽自由形50M4年以下

③伊藤隼人（富津内）

▽同6年以下

①田中健（富津内）

▽平泳ぎ25M4年以下

②小玉茂治（富津内）

▽同6年以下

①佐々木基了（杉沢）③畠山広樹（富津内）

▽平泳ぎ50M4年以下

①伊藤勝（富津内）②石川大介（杉沢）

▽同6年以下

①小玉嵩（富津内）

▽背泳ぎ25M2年以下

①小玉嵩（五城目）②伊藤辰徳（富津内）

▽同4年以下

①小玉茂治（富津内）③嶋崎航平（大川）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）②伊藤智幸（同）③石川亮（杉沢）

▽背泳ぎ50M4年以下

①齊藤祥（五城目）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）

▽同6年以下

①伊藤真一（富津内）

▽バタフライ25M4年以下

①伊藤隼人（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

①伊藤智幸（富津内）②伊藤辰徳（富津内）

▽同6年以下

▽同6年以下

②近野桂子（杉沢）③牧野千里（五城目）

▽背泳ぎ25M2年以下

②館岡朝子（五城目）③伊藤安芸子（同）

▽同4年以下

③小玉絵美（五城目）

▽同6年以下

①田中亜衣子（五城目）

▽同6年以下

②森田宏美（杉沢）

▽背泳ぎ50M4年以下

①石川未来（杉沢）③石川美香（同）

▽同6年以下

①田中亜衣子（五城目）

▽同6年以下

②伊藤佳菜子（富津内）

▽バタフライ25M4年以下

②石川紀子（杉沢）

▽同6年以下

①佐々木理夏（杉沢）③伊藤佳菜子（富津内）

▽バタフライ50M6年以下

①森田宏美（杉沢）②伊藤亜衣子（富津内）

▽個人メドレー100M4年以下

①小玉裕子（五城目）②石川未来（杉沢）

▽同6年以下

①伊藤亜衣子（富津内）

▽同6年以下

②石川美和（杉沢）③小玉衣吏子（富津内）

▽フリーリレー100M4年以下

①五城目小学校A

▽同200M6年以下

①杉沢小学校A②五城目小学校A

▽メドレーリレー100M6年以下

①杉沢小学校A③富津内小学校A

▽同6年以下

①杉沢小学校A③富津内小学校A

▽同6年以下

①杉沢小学校A③富津内小学校A

▽同6年以下

①杉沢小学校A③富津内小学校A

あけまして
おめでとうございます

今年もよろしくお願い申し上げます

まごころかよう

五城目信用金庫 本店

☎ 0188-52-2115 (代)



謹賀新年

今年もよろしくご愛顧、お引立を賜りますようお願い申し上げます。

初売 1月1日～3日まで
ダブルサービスがあります。

五城目 中央薬局

下町朝市通り ☎ 52-3217

応援します
健康家族



お知らせコーナー



森山地区公民館は、昨年の八月から建設費約六千八百万円をかけ、小池字森山下に建設が進められていたものです。

献血にご協力を

平成三年度六回目の献血車による献血が一月九日(木)、町内の五カ所で行われます。尊い人命を守るため、献血にご協力下さい。

▽五城目町役場前
午前9時30分～10時30分

▽五城目町農協前
午前10時40分～11時30分

▽宮盛木材化工(株)前
午後0時40分～1時10分

▽(株)エート電機前
午後2時10分～3時

▽(株)イトマン前
午後3時30分～4時10分

ふれあい健康講座

1月15日開催

地域住民の交歓交流と体力の増進を図ろうと「ふれあい健康講座」が開かれます。

▽日時 1月15日 13時～

▽場所 ふれあいセンター

▽対象 馬場目地区住民

役場本庁業務

今月から第2・第4土曜日が休みとなります。用事のある方はお気をつけ下さい。

本庁以外の外部施設(広域体育館等)は、今までどおり業務を行います。

森山地区 新春将棋大会

森山地区公民館が主催する恒例の新春将棋大会が次のとおり開催されます。どなたでもふるって参加して下さい。

▽日時 1月3日午前10時～
▽会場 森山地区公民館

▽参加費 1人 1,000円
※昼食・参加賞有ります。

森山地区公民館竣工式

1月30日、午前11時～

森山地区公民館の完成に伴う竣工式が、一月三十日午前十一時から、現地にて行われます。

☆講話 13時10分

・演題 「清流馬場目を思うこと」

・講師 馬場目小学校 校長 角崎義正氏

☆実技 14時

テーマ「笑いと健康」
内容 レクダンス・ゲーム

幼稚園児を募集

受付は1月20日～31日

五城目幼稚園では、平成四年度の園児を募集します。主な内容は次のとおりです。

▽応募資格

・平成5年4月に小学校に入学者の方(昭和61年4月2日から62年4月1日生まれ)

・五城目町在住の方

▽願書受付
1月20日(月)～1月31日(金)

▽願書交付・提出および問い合わせ先

五城目幼稚園、教育委員会

ハイヤー・タクシの障害者割引制度スタート

昨年十二月一日から、身体障害者、精神薄弱者に対してハイヤー、タクシの割引制度が実施されました。割引額は約一割で、役場住民課で福祉割引証を交付していますので、必要な方は手帳を持っておいで下さい。

ホームステイ・ホームビジット ボランティア家庭の募集

善意通訳者

財団法人秋田県国際交流協会では、県民の皆様と外国の方

方が、秋田の文化や暮らしを通して交流する、ホームステイ・ホームビジットのボランティア家庭および善意通訳者を募集しています。

「普段着の国際交流」を目的としていますので、お気軽に応募して下さい。

△ボランティア家庭▽
ホームステイ・ホームビジットを原則として無報酬で、自発的に受け入れる家庭

▽ホームステイ
ホームステイとは、文化交流、スポーツ交流等の国際交流や、留学研修等を目的とする外国人が、日常生活や日本文化を体験するために一般家庭に短期間滞在すること。

▽ホームビジット
ホームビジットとは、外国人が日常生活や日本文化を体験するために、一般家庭を訪ねることを言い、宿泊は伴いません。

△善意通訳▽
外国の方々と円滑なコミュニケーションををはかるため、原則として無報酬で通訳のできる方

〔募集対象〕
以上の主旨に賛同する県内のご家庭および個人

〔募集期間〕
随時

〔登録期間〕
応募により、登録名簿が作成されます。期間は平成5年3月31日まで、期間終了後、本人から辞退の申し入れがな

い限り、自動的に2年毎に更新されます。

〔応募および問い合わせ先〕
秋田県国際交流協会
〒010 秋田市山王二丁目1番60
アイデックスビル8F
電話 64-1181

公 告

都市計画法第六十二条第一項の規定により、建設大臣から都市計画事業の認可・図書の送付があったので、同法第六十二条第二項の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成三年十二月二十日

五城目町長 佐藤邦夫

一、施行者の名称

秋田県

二、都市計画事業の種類および名称

五城目都市計画道路事業三・四・二号中央線

三、事業施行期間

自平成三年十一月二十九日至平成六年三月三十一日

四、事業地収用の部分

五城目町高崎字田中、字前田および字佐戸

五、縦覧場所

役場建設部都市整備課

五城目町告示第137号

農業振興地域整備計画書の縦覧

五城目町農業振興地域整備計画(昭和四十八年十月二十日五城目町告示第十九号)を

謹 賀 新 年

御年始、御贈答には

清 酒
五城目城

を御利用下さい。



酒専門店 タカツ

五城目町中央通り 電話 52-2262
フリーダイヤル 0120(15)2262



渡辺全之助

小野 一二

鉄道を追いやって近代化に乗りきれなかった影響は、次第に深刻になった。そうした大正期の町長米田貞治・渡辺全之助・宮田源蔵は町勢立て直しに非常に苦心し、特に全之助は事業家として近代化を進めている。

明治十一年（一八七六）六月十九日全之助は初代村長綱松の長男として生まれた。素封家に生まれたが父の早世によって十九歳で家業を継ぎ、若くして辛酸をなめる。また日口戦争に従軍、黒溝台会戦では死線をこえる働きをした。

明治四十年（一九一七）二九歳で町会議員、三十一歳で五代目町長に就任し、以後七代八代、前後十年間町長をつとめた。任期中の大正十年十月十三日、中心部二七〇戸を焼く大火があった。さっそく全之助は営林署と交渉し、原木五千石の払い下げをもらった。夜を日についで町内業者に製材させ、原価で分けてやった。五城目の復興の早いのに近隣は驚いたが、その裏には町長の機敏な対策があった。

全之助は町の発展は、鉄道と町を結ぶ交通機関を設けることが第一と考えた。しかし一日市・米内沢間の鉄道一米線の運動は、実現困難だった。そこで彼は軽便鉄道によってまず本線と町を連絡しようと考えた。大正八年発起人会をつくり、十年（一九二一）一月五城目軌道株式会社を創立、自ら社長となった。秋田中央交通

の前身である。

五城目大火は、軌道工事と彼が提唱して設立した電話組合の架設工事に打撃を与えたが、十一年四月二二日いずれも開通となった。初めは小さなガソリン機関車が小さな一両の客車をひくだけだった軌道は業績をのびし、十五年には蒸気機関車が二両の客車をひくようになり、マッチ箱の愛称でよばれた。

また全之助は五城目電気株式会社創立にも参画、四年（一九二五）十月から町内に電燈が点った。宮花崎に火力発電所が動いて名所となっている。軌道や電気のは、ほとんど町民の出資で創設されたもので、近代設備の会社をつくった五城目の実力と進歩性は人々の目をみはらせた。しかし町民の力を結集できないと、「鉄道追いつけ」のように裏目に出るのである。全之助はアイデア湧出の抜群の頭脳と人々の信頼と尊敬を一身に集める人柄で、町にとって得難い指導者であった。

月休と号した彦太郎の孫らしく、彼も梅月と号した文人で、従軍回想記「不忘帖」のほか和歌五百首、漢詩百編を残している。

昭和十五年（一九四〇）九月十六日永眠したが、葬儀の式場で菊地鶴松町長が頌徳碑建立を発表、翌年神明社境内で除幕式が行われた。

（次回 泉谷力治）



寄善付意者の

（敬称略）

（亡父八郎様の香典返しとして）
12月11日
2万円
上樋口（上） 石村勇之助
（亡妻カ子様の香典返しとして）

12月13日
3万3、470円
五城目第一中学校PTA
婦人部
（五一中祭におけるバザーの収益金を寄付したもので）

12月13日
4千円 匿名
（寄付金として）

12月16日
2万円 長町 石井鉄弥
（亡弟勤様の香典返しとして）

12月17日
2千円 新畑町 加賀谷鉄郎
（寄付金として）

12月17日
5万円 浦横町 小玉嘉裕
（亡祖父嘉一郎様の香典返しとして）

12月4日
3万円 上高崎 館岡政美
（亡父永助様の香典返しとして）

12月9日
3万円 新畑町 大原和子
（亡夫國夫様の香典返しとして）

12月10日
2万円 浦横町 佐藤実

11月18日
2万円 古川町 桜庭直秋
（亡父鉄之助様の香典返しとして）

11月19日
5万円
台・御蔵下 伊藤良耕
（亡母ヒテ様の香典返しとして）

11月20日
3万円 昭辰町 伊藤勇
（亡父吉助様の香典返しとして）

11月21日
3万円 田町 伊藤石雄
（亡母チエ様の香典返しとして）

11月26日
5万円 希望ヶ丘 一関清子
（亡夫四郎二様の香典返しとして）

12月4日
3万円 上高崎 館岡政美
（亡父永助様の香典返しとして）

12月9日
3万円 新畑町 大原和子
（亡夫國夫様の香典返しとして）

12月10日
2万円 浦横町 佐藤実

11月6日
さつまいも 16kg
馬場目小学校生徒一同



森山 莊に
寄せられた善意
（敬称略）

少年の日標語

語り合う

ことばと愛で

明るい家庭

あけまして
おめでとう
ございます



今年もあなたの街のコミュニティプラザを
何卒よろしく願い申し上げます。

24営業 湖東商事

五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317

カラー
プリント **30分** 仕上げ

イトウカメラ
伊藤写真館

新畑町（ガーデン松竹向い） ☎52-3667

あけましておめでとう
ございます



今年もよろしくお引きくだいさようをお願い申し上げます

初売、お年玉セール開催中（1月5日まで）

桜餅、うぐいす餅、莓大福、梅大福

— 同じ商品5個お買上げごとに1個
プレゼントいたしております —

お菓子の **しばた**

五城目町古川町
☎52-3238

1月町民カレンダー

1月 20日

平成4年1月

1・元日

4・官庁仕事始め

・内川地区新春放談（生きたいセンター10時）

4・31・役場庁舎ギャラリー

「五城目小学校川柳クラブ作品展」（役場1階庁舎ギャラリー18時30分）

17時）※五城目小学校川柳クラブの皆さんの作品三十点位を展示します。

5・五城目町消防出初式「観閲式」（消防署前路上9時）※全消防職員・団員が町長の観閲を受け、次いで式典会場の広域体育館まで行進します。なお、途中下町町の丸六物産前で分列行進を行います。

【式典】（広域体育館第2体育室10時）※表彰状授与ならびに感謝状贈呈などを行います。

8・母子健康手帳の交付と妊婦健康相談の日（役場保健室10時）※妊娠届（用紙は役場にありま

す）と印鑑を持っておい

で下さい。

8・10・平成4年度五城目、内川、大川保育園入園申請受付（役場1階相談室9時）※都合の悪い方は1月14日から20日まで役場住民課へおい

で下さい。なお、申請書

をもらっていない方も、当日用紙を準備してありますので、おいで下さい。

8・10・冬休み子どもふれあい広場（農村環境改善センター10時）※8日：ゲーム遊び、リズムダンス、おにぎり実習、9日：ワラ工作作り、郷土料理実習、10日：雪遊び、もちつき会。また、ビデオコーナー、盆踊り練習会も行われます。対象は町内の児童・生徒。6日までに農村環境改善センター（電話75-5067）へ申し込み下さい。

10・乳幼児健康相談（役場保健室10時）※対象は平成2年12月と3年6月生まれです。

11・書道通信講座受講生書き初め（町民センター13時）

12・馬川地区書き初め大会（馬川地区公民館10時）

14・わたしたちの五城目町編集委員会（役場大会議室9時30分）

・学校給食調理員研修会（町民センター10時）

15・成人の日

・馬場目婦人学級（ふれあいセンター13時）

17・各小・中学校、幼稚園第3学期始業式

18・中央家庭教育学級（町民センター18時）

おたんじょうおめでとうございます



斉藤 あすかちゃん
3年11月5日生

（敬称略）

〈おかあさんの一言〉

じょうぶな子どもに育ててほしい

おくやみ
申し上げます

（敬称略）

石井美代壽	84歳	11月11日	石井勤	75歳	11月18日
石村カ子	66歳	11月12日	大原國夫	57歳	11月24日
小玉嘉一郎	82歳	11月12日	長町	56歳	11月27日
伊藤吉助	78歳	11月14日	新畑町	64歳	11月28日
一関四郎二	75歳	11月14日	浦横町	56歳	11月28日
嶋崎清治	91歳	11月15日	下樋口	56歳	11月28日



町の人口と世帯

12月1日現在

人口	14,421人	(-2)
(男)	6,835人	(-6)
(女)	7,586人	(+4)
世帯	3,952世帯	(+4)

※（ ）内は前月との比較

山田翔吾	長男	11月30日
村井拓弥	長男	11月16日
近野奈実	長女	11月6日
司・アチ子		広ヶ野
清美・美保子		田町
俊光・春美		田町
斉藤あすか	長女	11月5日

テレホン広報
ごじょうめ
ご案内

	月	火	水	木	金	土	日
12 / 30 ～ 1 / 5	1992年の干支“申”について						
6 ～ 12	暮らしのワンポイント 壁紙の上手な張り方			はたちの 献血キャンペーン			
13 ～ 19	こんにちは 保健婦です						

暮らしのワンポイント

あけましておめでとございます。今回は、「壁紙の上手な張り方」をお送りします。お楽しみに。



テレホン広報ごじょうめ
020-4141